

ねんじ ちゅうかんこうさ お  
**2年次 中間考査を終えて**

ひま ちゅうかんこうさ お  
白増しに秋が深まり、朝晩は肌寒さを感じることも多くなりましたが、お元気で過ごしてはいかがでしょうか。2年次  
は10月18日～10月21日に2学期中間考査が実施されました。出来はどうでしたか？テストが返却さ  
れた際には、しっかりと復習し12月頭からの期末考査に向けて勉強に励んでほしいと思います。

さて、10月13日（水）6限に、新3年次の自由選択科目についての全体説明会が行われました。

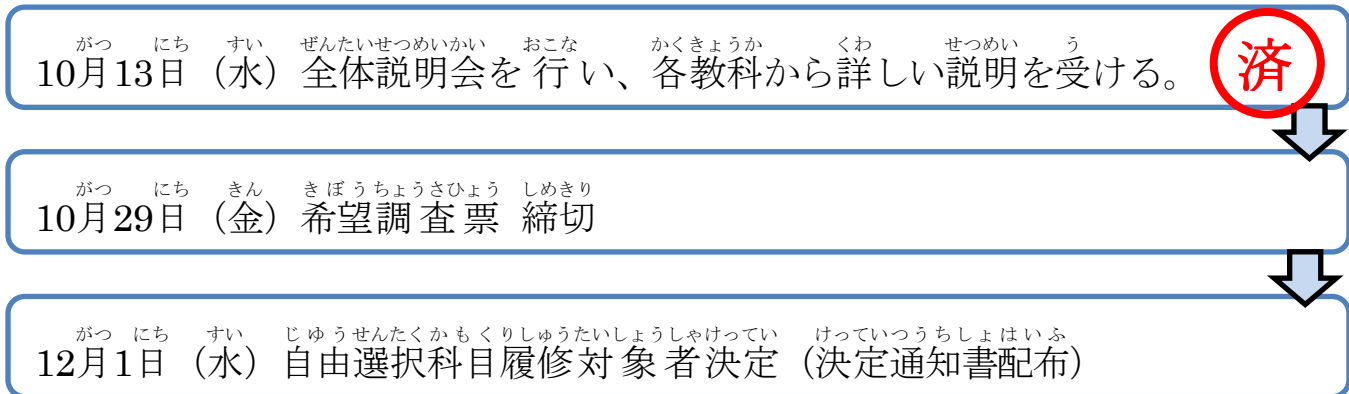


たいいくかん きょうむぶ せんせい はなし き あと かくきょうか せんせいがた じゅうせんたくかちく せつめい  
体育館で教務部の先生からのお話を聞いた後、各教科の先生方から自由選択科目についての説明があり  
ました。自由選択科目は、「自分が興味のある事柄についてさらに学びを深めたい」、「進路を考えた際に必要  
である」という観点から、自らが選択し履修する科目の事です。進学を考えている人は、自分が行きたい  
大学・学部の試験に必要な科目・履修していないといけない科目は何かを必ず確認してください。学校推薦を  
考えた時に、定員以上の希望者が集まった際には、成績が高い方が選出されます。今後のことを良く考えて  
勉強しましょう。

また、就職を考えている人も評定は大切です。少しでも良い成績を収め、評定を上げるように努力しま  
しょう。

自分の望む進路に進むために、今から何をすべきか考え行動することが大切です。自分の人生に関わる選択  
ですので、必ず保護者の方と相談・確認をして自選科目の決定をしてください。科目によっては履修上の条件  
があります。科目内容や条件をよく読み、自分自身の学力や進路希望を踏まえ適切な科目を選択しましょう。  
何かわからないことがあれば、早めに教科担当の先生や担任の先生に相談してください。

### 新3年生で履修する自由選択科目決定までの流れ (A~E組)



自分が少しでも良い成績を収めることができるよう、卒業に向けて  
今から真剣に考えよう。早めにスタートすればするほど、希望の進路  
に進む可能性がぐっと高まります！！

### 今後の過ごし方について

急に朝晩の冷え込みが激しくなってきました。体調を崩さないように、また引き続き新型コロナウイルス  
感染防止対策を徹底していただければと思います。また、制服移行期間についての通知を配布させていただき  
ました。これから服装も冬に向けて変化していくと思います。その際、校則をきちんと守った服装を心がけま  
しょう。(詳しい服装については生徒手帳の8ページに記載しています。確認してください。)

まずは服装から気持ちを整えていき、自分が卒業後どうなっていたいのか、そのためには何をすべきなのかを少しずつで良いので考えていきましょう。

「そんなこと言われても、自分が何をしたいのかわからない…」 「興味がある分野はあるけれど、それに関連した仕事は何かあるのかわからない…」 など、悩んでいる人もいます。ぜひ、身近な先輩たちに話を聞いてみてください。ご家族の方や先生、進路が決定した先輩など、自分の進路を決めて高校を卒業した人たちが皆さんの周りにたくさんいます。自分のことを良く知っている人に客観的な意見を聞くことで、新しい発見や気づきがあるかもしれません。また、企業や大学・専門学校のHPを調べ、気になる学校などがあたら資料請求をしてみてください。たくさん悩んで考えた上で、進路決定に向けて動いていきましょう。

### 今月の名言

「今の自分を眺めて、明日のオレが今日より強く、大きくなるためにはどうしたらいいか考えてほんの小さな事でもいいから成長しようと思い出してから変わりはじめたんだよなあ。」

武井壮 (1973~日本 タレント 元陸上競技選手 日本フェンシング協会会長)

「If you do not believe in yourself, no one will do it for you.」

自分が自分を信じてあげないと。誰も信じてくれないよ。

コービー・ブライアント (1978~2020/ アメリカ 元バスケットボール選手)

「進路を決めるのは風ではない、帆の向きである。人の行く手も海を吹く風に似ている。人生の航海でその行く末を決めるのは、風でもなければ、嵐でもない、心の持ち方である。」

エラ・ウィーラー・ウィルコックス (1850~1919/アメリカ 詩人)

### 以下、2学年団が学生時代にどのように進路を決めたのかについて

#### 2年A組 島本先生

高校の時は3年生の春まで大学進学か専門学校かで悩みました。最終的には大学・専門学校ともに体験入学に行き比較し、進路を決定しました。自分が何を学びたいのか、何をしたい・していきたいのかをしっかりと自分の中の芯の部分に捕らえて道を選択しないと、どんな進路に進んでも選ばなかった道を思い出して後悔と愚痴を吐くだけになります。一人の大人としてアドバイスすると、進める道はひとつではありません。家庭の経済的事情などから遠回りすることになるとしても目的が定まっていれば進む路は定まると思えます。自分の芯をしっかりと見定めて日々を頑張ってください。

#### 2年B組 鈴木先生

高校卒業後は、当たり前のように大学に進学する人ばかりの高校だったので、1年間浪人して私も大学に進学しました。大学卒業後は、大学院に進学する・一般企業に就職する・公務員になる等、様々な選択肢の中から東京都の教員を選びました。選択肢があっても、家庭の状況・自分の能力や適性等から選択肢は絞られます。2年の秋、進路希望を決めていない人は遅過ぎます。

## 2年C組 佐藤先生

高校の時、父が倒れ自営業をしていた会社が倒産。なんとか再建できないかと思い就職進学を決めました。父の会社の手伝いで、CADには自信があったこと、高校で機械コースだったこと。この両方を活かし、さらに夜の大学への通学を認めてくれる会社が1社だけあったので、そこに就職することを決め、内定後も大学受験をするため、努力を重ねました。高校偏差値の最低レベルだったので大学に受かる自信はありませんでしたがなんとか合格できました。それと同時に、地獄の4年間を覚悟し、乗り切って今にいたります。(なかなかの強者(つわもの)でしょ)

## 2年D組 古屋先生

「デスクワークばかりの仕事は嫌だなあ」と思い、デスクワークが少なそうな教師になろうと考え、進学を決めました。後ろ向きな動機からの始まりでしたが、いつしか「教師になりたい」と前向きな気持ちになっていました。はれて教師となり、授業以外の時間はほぼデスクワークな毎日を過ごしています。なぜ・・・？そこに行きつくまでと、行った先で頑張れるだけの理由であれば、どんな理由で選んでも良いと思います。ただし、進路先の下調べだけは入念に。

## 2年E組 新村先生

一度きりの人生、誰かの記憶に残ってから死にたい、人の成長や誰かの人生を後押しできるような人生を歩みたいと思ったのが始まりです。昔から国語・黒板に字を書き教えることが好きだったこともあり教員を目指しました(あと『ごくせん』のヤンクミに憧れた)。今思えば壮大な？願望なのですが、笑ったり泣いたり悩んだり、いろんな感情と出会えるこの仕事はとても楽しいなと思っています。自分の進路に迷っていた時、当時の担任の先生が後押ししてくれたことが大きな転機になりました。仕事はとても大変ですが常に「今が一番楽しい」です。人間は考えることができる生き物です。悩みぬいて必死に考えて決めたことならば、自信を持って突き進んでください。それだけの価値がある選択をするために、今から進路について一緒に考えましょう。

## 2年F組 村里先生

私が工業高校生の頃、どんな職業に就こうかよく考えていましたが、結論が出ることはありませんでした。あまり勉強をしなかったせいで望みだけは高く、理想と現実が一致していなかったのが原因だったと今では思います。その結果、とりあえずお金を貯めようと、とあるお菓子屋さんに就職し、お菓子を作っていました。しかしそれはながくは続かず、その後はうだつのあがらない日々をしばらく過ごしました。年齢を少し重ね、振り返ってみると、その経験があったからこそ今の自分や仕事があると強く感じています。皆さんも、何も考えずにただ毎日を過ごすのではなく、悩み、苦しみ、葛藤しながら生きてください。いつの日か振り返ったときに後悔しないためにも。

